

対象国の条件:

研修コース番号:201984515-J002

案件番号:201984515

主分野課題:ガバナンス/法・司法

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

警察官、検察官及び裁判官等の刑事司法実務家を対象に、刑事司法分野(捜査、訴追、裁判及び国際協力)における知識や経験、課題を共有するとともに、国内外の専門家による講義、グループ討議や関係機関の視察を通じて、各国の実務改善のためのベストプラクティスを探究し、実務家同士の国際的ネットワークを構築する機会を提供する。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 刑事司法に関する特定の課題(毎年度ごとに設定)について、最新の国際的動向を踏まえた上で、各国の経験及び今後の方向性が共有されるとともに、各国の実務改善のための継続的な情報交換に向けたネットワークが構築される。</p> <p>【成果】 1. 刑事司法に関する特定の課題(毎年度ごとに設定)について、参加各国の現状と課題が共有される。 2. 特定の課題について、日本の経験を含めた最新の国際的動向が共有される。 3. 特定の課題について、各国の課題に対する有効な対策が検討される。 4. 特定の課題について、課題解決に向けた方向性が共有される。 5. 特定の課題について、課題解決のための継続的な情報交換に向けたUNAFEIを中心とするネットワークが構築される。</p>	<p>【対象組織】 刑事司法機関(警察、検察庁、裁判所、法務省、内務省、その他の法執行機関)</p> <p>【対象人材】 各組織において指導的立場にある職員</p> <p>【職務経験】 7年以上の実務経験を有し、特定の課題(毎年度ごとに設定)に関する業務に従事した経験を有する者</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前活動】 Individual Presentation Paperの作成、UNAFEI教官によるフォローアップ</p> <p>【本邦研修】</p> <p>1. 国別発表 Individual Presentation Paperの発表・質疑応答</p> <p>2. 講義 刑事司法に関する講義(講師:UNAFEI教官、日本の刑事司法関係者、海外招聘講師)</p> <p>3. 視察 検察庁、裁判所等</p> <p>4. 討議・指導 UNAFEI教官の指導のもと小グループに分かれての討議、グループレポート作成</p> <p>5. グループ発表 グループレポートの発表・質疑応答</p> <p>【参考情報】 2018年度は「薬物不法取引等犯罪対策の実務」を扱う予定。</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/5~2019/6</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA東京(産業公共)</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>法務省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2019~2021</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>調整中</p>	
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p><国際連合アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI)・HP> http://www.unafei.or.jp/</p>	